

## 顎口腔領域の画像診断 —顎下腺炎のCT画像診断—

丸山 清, 長内 剛, 柴田常克

松本歯科大学 歯科放射線学講座 (主任 丸山 清 教授)

症例は41才の男性で5)の疼痛と頬部腫脹あり, その後顎下部腫脹を訴えて来院, 白血球が1万以上あり, 炎症として抗生物質等投与して腫瘍は縮小してきた. 吸引細胞診の結果は好中球, 成熟リンパ球多数を認め炎症性病変と診断された.

CT画像はWharton's duct からイオパミロン300を5倍に稀釈して約1.5 cc 注入した直後 scan したものである.

右顎下腺は稍腫脹しており且同部の広頸筋が肥大して炎症の拡がりを示している. 顎下腺の辺縁は明瞭で, 腺葉構造は正しく且均等に造影されており, 陰影欠損等は見られない.

### 文 献

- 1) Chakeres, D. W. and Kapila, A. (1984) Computed tomography of the temporal bone. *Medical Radiology and Photography*. **60** (3): 15-17.
- 2) Kieffer, S. A. and Heitzman, E. R. (1979) *An Atlas of Cross-sectional Anatomy*, 53-73. Harper & Row, New York.
- 3) Wackenheim, A., Jeanmart, L. and Baert, A. L. (1980) *Craniocerebral Computer Tomography*, 115-118. Springer Verlag, Berlin.
- 4) 平敷淳子, 亀井民雄 (1985) 頭頸部CT診断アトラス, 57-94. 朝倉書店, 東京.
- 5) Ferner, H. 編: 小川鼎三, 石川浩一訳 (1971) 臨床応用局所解剖図譜, 第三版, 221-225 医学書院, 東京.
- 6) Takahashi, S. (1969) *An Atlas of Axial Transverse Tomography and its Clinical Application* 40-50. Springer Verlag, Berlin.
- 7) Valvassori, G. E., Buckingham, R. A., Carter B. L., Hanafee, W. N. and Mafee M. F. (1988) *Head and Neck Imaging*, 253-270. Georg Thime Verlag, Stuttgart. New York.

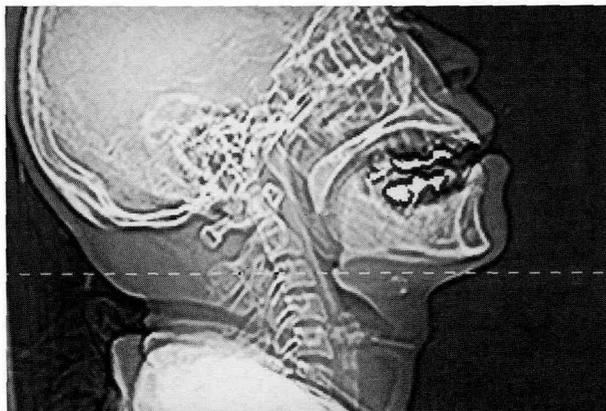


図1 : Scan level

下顎下縁に平行で顎下腺を通るレベル



図2：顎下部CT像

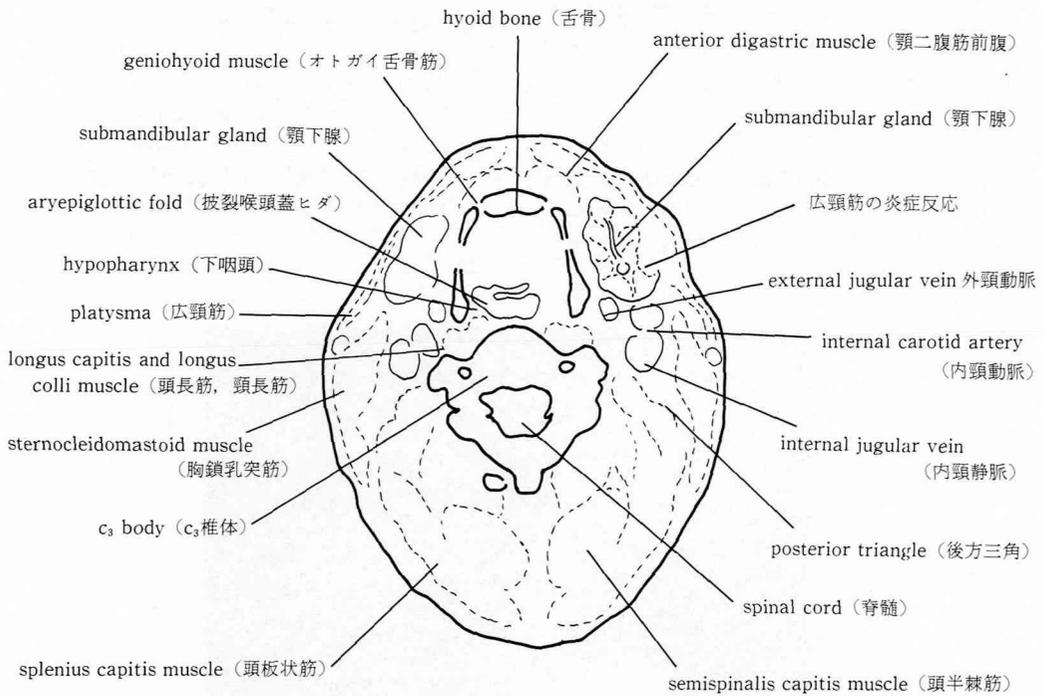


図3：図2のトレース像